



# 幻想的な美術動物園へようこそ！

## ～「美術の森緑地」がニューアルオープン～

と き 平成 27 年 4 月 4 日 (土) 開園式を開催

ところ 練馬区立美術館 (貫井 1-3 6-1 6) 西武池袋線中村橋駅下車徒歩 3 分

練馬区立美術館 (貫井 1 丁目) に隣接する緑地が生まれ変わった。その名も「練馬区立美術の森緑地」。

天然芝を敷きつめた園内に潜むのは、20 種類・32 体のファンタジーな彫刻群。誰もが知っている動物が、誰も見たことのないアートになった。見て触れて想像を巡らせる、ここはいわば“幻想美術動物園”。練馬区立美術館の手前で、新しいトキメキに出会うことができる。

### 【美術の森緑地の彫刻群】



▲ 4mのクマがお出迎え

◀ キリンの長い脚につかまって写真を撮る家族



▲ 32体の彫刻が並ぶ「美術の森緑地」

【問い合わせ】練馬区立美術館 電話 03-3577-1821



# 美術の森緑地 主な彫刻作品

## 1 植栽彫刻

- a. クマ
- b. ネリマーマ

体と足が大根、頭とたてがみが植栽のネリマの馬の親子



## 2 ブロンズ

- c. 森の幻想
- d. ライオン



- e. ゴリラ



- f. うつるもの



- g. ネコ



## 3 ステンレス

- h. トンボ



## 4 強化プラスチック[FRP]

- i. キリン
- j. ゾウ



- k. キノコ



- l. 手長ザル



- m. トラ



- n. ネリビー

美術館のロゴ・マークから生まれた「ネリビー」が美術の森緑地の案内役を務める



### (作者/工房)

a-鞍掛純一/M-CRAFTS

b-あきびんご/M-CRAFTS

c-古賀忠雄/日本美術総合

d,e,f-鞍掛純一/黒谷美術

g-島田紘一呂/黒谷美術

i,j,k,l,m- 鞍掛純一/ラッキーワイド

h-内山翔二郎/日本大学芸術学部

n-ナクラトモヒコ/ラッキーワイド

全ての彫刻物は、触ってもいい、座ってもいい「遊べるアート」。作品の周りにはゴムチップ、天然芝が敷き詰められている。

「動物感覚をとぎすます道」(桑原淳司作)は、高くなったり、低くなったり、様々な素材と色で構成されている「歩けるアート」。